

(3) 人々の楽しみ

農家の人は、朝早くから田畑に出て、日が暮れるまでよく働きました。夜でも縄をなったり、ぞうりを作ったり、また女の方は針仕事をしたりしていました。このように毎日いそがしく働く人びとの楽しみは、お正月やお盆のときでした。

鳥追い、歳の神、七夕などは今も行われている季節の伝統的な行事です。

むかしから、正月に行われる八日市、八月のせと市、九月の秋祭りなどは、最高のレクリエーションです。

また、部落の人々が行なう演芸会や旅まわりのしばいなども行われていました。



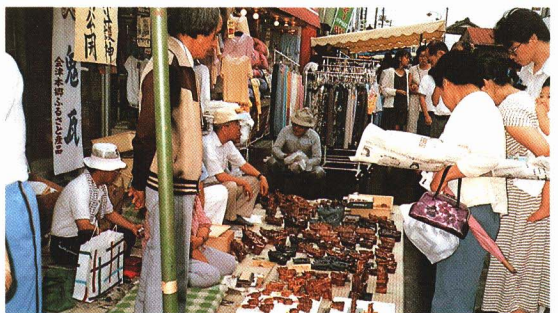
歳の神



鳥追い



盆おどり



せと市